

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宮城県	代表者名	村井嘉浩
担当者部署	公務研修所	連絡先電話番号	022-351-5661
担当者役職	次長（人材育成担当）	担当者氏名	小松直子
住所	981-3341 宮城県富谷市成田2-22-1	連絡先E-mail	kouken-k@pref.miyagi.jp

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	最新の具体的な事例を取り上げ、丁寧な説明により、受講生の興味関心をひき、オープンデータやデータ活用に関する理解を深めた。また、slidolによるワークショップ運営により、講義を進めながら、リアルタイムで、受講者の質問に答え、双方向のやりとりがスムーズに進んだ。更に、事後的にデータ共有できるので、今後の振り返りや学習に役立つ取り組みであった。特に2日目は、e-Statやエクセル、Tableauなど、便利なツールを用いて、実践的、実務的なアドバイスがあり、今後の検討に役立つものであった。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。大変お忙しい中、調整をいただき、感謝申し上げます。当日の資料や記録写真などもフォルダに保存いただき、研修終了後も振り返り学習できる環境をつくっていただきました。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年10月12日	支援・助言(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時00分	17時00分	60
			活動時間（分）	420	
3-2. 派遣場所	会場名	東北自治研修センター（公務研修所）	最寄駅	地下鉄泉中央駅	
	所在地	成田2-22-1	最寄駅からの交通手段	タクシー	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	宮城県職員、県内市町村職員、民間企業社員	27 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	少子化、脱炭素社会、防災など、社会全体で、官民が連携して取り組まなければならない課題が山積し、お互いに知恵を出し合い連携する取組の重要性が増している。また、オープンデータに関しては、宮城県として、令和3年から取組を進めているが、まだ浸透しているとは言い難い状況である。今回の官民連携ワークショップを通じて、庁内外の取組推進の一助としたい。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	参加者が、オープンデータの基本と活用の可能性について理解し、地域課題解決のための具体的な活用についてワークショップを通じてイメージを広げ、各所属において、それぞれの分野での活用につなげていく。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	ワークショップの第2日目の運営を通じて、オープンデータの探し方、可視化の方法について、指導助言を受けた。具体的には、s-Statの利用方法、エクセルによるデータ処理、便利な手法、データビジュアライズのポイント、BLツール（Tableau）、その他の分析ツール（ひなたGIS、RESAS、jSTATMAP）などについてご紹介、説明いただき受講生のオープンデータの活用方法についての理解を深め、具体的な活用に向けた土台を築いた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	オープンデータへの探し方、可視化の方法について、理解が進んだ。ワークを通じて、実際にパソコンで様々な分析ツールに触れることにより、受講者が、具体的な活用に向けて、イメージを形成することができ、課題解決に向け、さらなる一助となった。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	受講生のオープンデータ利用方法、可視化の方法について理解度の向上、官民の受講生のネットワーク形成	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	課題の解決策となる具体的なプロトタイピングの検討など(第3日目に実施)	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 総合評価4.78(5点満点)丁寧な説明で分かりやすかった、プロトタイプ作成演習が実践的であった、オープンデータの利活用や公開の重要性について学ぶことができたといった意見が多く寄せられた。(詳細については、別紙アンケート結果参照)	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	受講生がオープンデータを活用して、自らの所管分野の課題解決を目指していく。今回の受講生が、今後につながるネットワークを築いていく。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

